

「生きがい健康活動交流会（仮称）」を11月中旬に、峰山総合福祉センターで開催します。

交流会では、基調講演をはじめ、社会福祉協議会や老人クラブ連合会などで構成する「蓬萊の郷づくり推進懇談会」などの活動成果の発表や、健康食の展示などを予定し、生涯にわたって安心して生きがいを持って暮らすことができる地域づくりをめざします。



健康・長寿のまちづくりについて、意見交換する「蓬萊の郷づくり推進懇談会」

2 医療保険制度の一層の充実

申請はお早めに

■児童医療給付費

【民生費】（継続） 5,146万円
（生活環境部 医療保険課）

児童の健やかな成長を願い、平成16年10月から児童医療費の助成を行っています。（京丹後市独自の制度）

小学生のお子さんが、医療機関で受診されたときなどに、保護者のかたが負担される費用の一部を助成します。

医療機関の窓口で、請求されたお金をいったん支払っていただきますが、みなさんからの申請により、支払われた額の一部を助成します。助成を受ければ自己負担は、1か月200円だけとなります。



乳幼児健診

本格的な高齢化社会に備え、全国一斉に高齢者のかたの医療制度が変わります

■京都府後期高齢者医療広域連合への加入

【民生費】（新規） 2,164万円
（生活環境部 医療保険課）

平成20年度からスタートする「京都府後期高齢者医療制度」に備えて広域連合が設立され、その準備を進めていきます。

平成20年4月1日から、75歳以上の高齢者のかたは、都道府県単位の保険証になります。

現在の老人保健制度に該当しているかたは、全員この制度の該当者となりますが、医療費の負担はかわらない予定です。

詳しくは、9月ごろから市の「お知らせ版」などで順次ご案内します。

3 患者本位の医療体制の充実

市民のみなさんのニーズに応じた医療の提供に努めます

■病院事業会計

（継続） 58億1,200万円
（医療改革推進政策監）

○弥栄病院

今年4月から常勤の産婦人科医師が、2人になり、助産師も増員するなど充実した体制のもとで、産科が本格的に再開しました。

このほかの診療科においても、人工透析治療の充実を図るなど、市民のみなさんの期待に応えられるように努めます。



○久美浜病院

治療から予防、リハビリと、市民のみなさんが安心して気軽に医療が受けられる病院づくりに取り組みます。

内科をはじめ外科、小児科、歯科口腔外科など、引き続き医療の質とサービスの向上に努めます。



4 支えあい、助けあいの地域福祉の推進

自殺者ゼロのまちづくりの実現に向けて

■自殺予防対策経費

【衛生費】（新規） 202万円
（保健福祉部 健康推進課）

平成10年以降、全国で毎年3万人を超えるかたが自殺により尊い命をなくされており、京丹後市における自殺発生率は、全国平均より高い状況です。

“自殺者ゼロのまちづくり”を実現するため、自殺ゼロ実現推進協議会および関係機関などと連携し、自殺予防のための普及啓発を積極的に取り組みます。

多重債務などでお悩みの方の相談窓口として、4月から大宮庁舎1階に「多重債務相談・支援室」を設置しています。弁護士や司法書士などの専門家と連携し、債務問題のお手伝いをします。



大宮庁舎1階に新たに設置した「多重債務相談・支援室」

地域福祉計画のたしかな推進のために

■支えあいの地域づくり推進会議（仮称）の設置

【民生費】（新規） 7万円
（保健福祉部 生活福祉課）

市民のみなさんの中から選出した委員（10人以内）で構成する「支えあいの地域づくり推進会議」を設置し、市民参画のもと昨年度に策定した「地域福祉計画」の具体的な実施に向けた検討を行います。

この推進会議は、「健康と福祉のまちづくり審議会」の中の組織として位置づけ、地域福祉計画の進捗状況についての把握や、他の計画との調整を図りながら、施策の充実や見直しについて協議します。



京丹後市地域福祉計画

災害時要援護者を地域で支えます

■災害時要援護者避難支援体制の整備

【民生費】（新規） 15万円
（保健福祉部 生活福祉課）

災害時における要援護者のかたの避難誘導体制、関係機関の協力体制の確立について検討します。

また、先進地事例の講演会や要援護者のかたを含めた避難訓練などを実施するとともに、地域の自主的な取り組みも支援します。

災害時要援護者

災害が発生したときに、安全な場所に避難するなどの行動をとるのに支援を要するかたのことで、一般的には高齢者のかたや心身に障害のあるかた、お子さんと妊婦のかたなどを対象にしています。

街のポケットパークをつくりま

■峰山総合福祉センター前庭の整備

【民生費】（新規） 130万円
（保健福祉部 生活福祉課）

峰山町地域振興協議会の提言を受け、峰山総合福祉センターの前庭を改修し、高齢者のかたや親子のかたなどが休めたり、友達同士で憩える空間をつくりま

現在の前庭の原形は残しつつ、出入り口や植栽を改修するほか、ベンチなどを設置して、利用しやすい街の小公園として整備します。



峰山総合福祉センターの前庭をポケットパークとして整備します

5 共に生きる障害者福祉の充実

障害のあるかたの社会参加のお手伝い

■障害者の就労支援

【民生費】（新規） 516万円
（保健福祉部 障害者福祉課）

障害のあるかたの就労を支援するため、就労に関しての相談に応じます。また、障害のあるかたが、職場体験をする機会を増やすとともに、就労の知識や能力をつけていただくために、知的障害者職場実習を実施するほか、企業などで職場実習をした場合には、その企業などに奨励金を支給します。このほか、障害のあるかたが雇用された場合にも奨励金を